

AICHI Environmental Award



AICHI
Environmental
Award

愛知環境賞 受賞事例集 2026



主催：愛知県

共催：環境パートナーシップ・CLUB (EPOC)、中日新聞社

持続可能な社会の実現を目指して

Contents

「環境首都あいち」の確立に向けて	愛知県知事 大村 秀章	P2
愛知環境賞とともに進める環境への取り組み	環境パートナーシップ・CLUB 会長 勝野 哲	P2
選考委員長講評	2026愛知環境賞選考委員会 委員長 鈴置 保雄	P3
愛知環境賞とは		P3

金賞

東邦ガス株式会社

都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた国内初のe-メタン活用

P4

銀賞

内浜化成株式会社

自動車外装樹脂部品の射出成形機金型内での新しい塗膜形成技術の開発

P5

銅賞

株式会社豊田自動織機

愛三工業株式会社

至学館大学

知多自然観察会

地域の川と生き物を対象として数値化によるPDCAを行い楽しく学ぶ地域協働での河川活動とESD

P6

中日新聞社賞

ABK♡朝美活

楽しさで加速する行動変容 ～ごみ拾いは地球を救う～

P7

名古屋市長賞

御幸毛織株式会社

高品質と環境配慮を両立した日本唯一の一貫生産モデルの構築

P8

アイシン高丘株式会社

世界初、廃棄ヤシ殻を原料とするコークスを用いたCO₂削減事業によるカーボンニュートラルへの貢献

P9

株式会社アオキスーパー

株式会社ミライデザインGX

資源循環・経済性・地域貢献を実現する持続可能な食品ロス削減の取組 アオキスーパーモデル「ハピタベ」

株式会社グランツ

再生困難な熱硬化性樹脂及び熱可塑性低硬度エラストマーの独自技術によるマテリアルリサイクル

P10

CKD株式会社

世界初! 医薬品包装PTPシート「ClearE-Sheet®」の生産技術によるプラスチック含有廃棄物の大幅削減

Terminal

無理なく安心して継続的にペットフードロス削減と動物愛護に貢献する動物版フードバンクエコシステムの構築

P11

株式会社鶴弥

創嘉瓦工業株式会社

アップサイクル型粘土瓦「スマート 純いぶし」の製造によるロス率の削減

株式会社豊竹

竹を厄介者から貴重な資源に

～竹林所有者・伐採事業者・社会問題解決が全て満足する日本初の事業モデル～

P12

プロジェクトsky

私たちの未来のために楽しみながら環境意識を地域に広める活動

株式会社毎日商会

日本初の多量×高精度を実現するエネルギー自立型混合廃棄物選別システム

P13

優秀賞



「環境首都あいち」の確立に向けて

愛知県知事

大村 秀章

2026愛知環境賞を受賞された皆様、この度は誠にありがとうございます。

愛知環境賞は、2005年愛知万博の開催に合わせて、県内企業や県民の皆様による優れた環境取組事例を表彰し、広く全国に向けて「環境首都あいち」をアピールする目的で創設したものであり、今回で22回目となります。世界に誇る技術や全国に先駆けた活動などの取組を広く紹介することで、受賞された方々の励みとなるとともに、循環型社会の形成やカーボンニュートラルの実現につながることを期待しております。

今回も、企業や団体等の皆様から先駆的で社会の要請にも応えた事例を数多く御応募いただきました。受賞に至らなかった方々を含め、御応募いただいた全ての方々に対し、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年は、愛知万博の20周年を記念した「愛・地球博20祭」を開催し、万博の理念や成果を継承するとともに、持続可能な社会の形成に向けて改めて考える好機となりました。

本県は、日本一の産業県であるからこそ環境分野においてもトップランナーとして、その役割を担うべきであると考え、サーキュラーエコノミーが浸透した循環型社会の形成、カーボンニュートラルの実現や生物多様性保全の推進といった施策・取組を一層推進していくことにより、SDGsの達成にも大きく貢献する「環境首都あいち」を目指してまいります。

引き続き、本県の環境施策に対する一層の御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

2026年2月



愛知環境賞とともに進める 環境への取り組み

環境パートナーシップ・CLUB
会長

勝野 哲

「2026愛知環境賞」の受賞企業・団体の皆さまにおかれましては、誠にありがとうございます。

近年、国際社会では気候変動対策の強化、資源循環の拡大、生物多様性保全の推進など、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが進められています。我が国においても、エネルギー政策や環境関連施策の見直し、企業における情報開示や環境経営の高度化が進展し、環境分野は産業政策・地域政策とも密接に連動する重要な領域となっております。

このような情勢の下、本賞の受賞事例は、地域産業の技術力と創意工夫を結集した優れた成果であり、持続可能な社会の構築に資する先導的な取り組みとして高く評価されるものです。それぞれの事例には、環境負荷の低減と価値創出の両立を図る姿勢が明確に示されており、今後の地域および国内外の環境施策にも示唆を与えるものと考えております。

環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) は、設立以来、多種多様な業種・業態の会員による連携活動を通じて、脱炭素、資源循環、生物多様性保全の推進に取り組んでまいりました。引き続き、「環境のわざ」と「パートナーシップ」の強化を軸に、産学官が協働して課題解決を図る体制の構築に努めてまいります。

本賞の受賞事例が、地域における環境活動の更なる発展と次なる挑戦を促す一助となり、愛知環境賞が環境分野の発展を牽引する存在として今後も広く貢献していくことを期待し、ここに祝意を申し上げます。

2026年2月



選考委員長講評

2026愛知環境賞
選考委員会 委員長

鈴置 保雄

愛知環境賞は、愛知万博を契機として2005年から始まり、今年で22回目を迎えることができました。世界の平均気温の上昇が続く中、昨年、国は地球温暖化対策計画を改定し、2035年度における温室効果ガス排出量を2013年度比で60%、2040年度においては73%削減することを目指す野心的な目標を掲げました。日本一の産業集積地であるこの地域においても、カーボンニュートラルの実現やサーキュラーエコノミーの推進に向けた施策を加速させることが重要で、愛知環境賞は優れた取組を顕彰することとおして貢献しようとするものです。

今回の愛知環境賞には、37件もの応募があり、厳正なる審査の結果14件を表彰することに決定しました。CO₂と水素を原料としたe-メタンの全国初の都市ガス導入、塗着効率100%で省エネルギーを実現した自動車外装樹脂部品の塗膜形成技術、地域河川を舞台に多様な主体が連携して取り組む生態系保全と環境教育など、時代のニーズを満たす先駆的で効果的な事例が数多く提案されました。

受賞された皆様方に対して、心からお祝いを申し上げます。残念ながら今回受賞に至らなかった事例についても、その取組内容は大いに評価できるものでありますので、さらに研鑽を積まれたうえで、ぜひとも再度ご応募いただきたいと思います。

最後になりましたが、2026愛知環境賞に応募いただいた企業・団体の皆様、選考に携わっていただいた有識者の方々、さらには表彰式の運営に携わっていただいた経済界の皆様方に心から感謝申し上げます。

2026年2月

愛知環境賞とは

企業、団体などが行う先駆的で効果的な環境取組の事例を表彰し、広く社会に紹介することによって、循環型社会の形成や脱炭素社会の実現を促進することを目的として、2005年の愛知万博を契機に創設し、今年で22回目となります。

毎年、環境をテーマとした先駆的な技術を持つ製品やユニークな活動など、様々な知恵と工夫を凝らした取組の応募が数多くあり、愛知の環境技術や環境活動のレベルの高さを全国に発信しています。



■ 募集対象事例 サークュラーエコノミー*やカーボンニュートラルに関する取組など、資源循環や環境負荷低減を推進する先駆的で効果的な愛知県内の(技術・事業)(活動・教育)

※サーキュラーエコノミー
従来の3Rの取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動であり、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑制等を指すもの



■ 募集対象者 企業、団体又はグループ

■ 選考について 選考委員会で各賞の受賞事例を選考します。選考のポイントは次のとおりです。

- 技術・事業 ①先駆性・独創性 ②環境負荷低減効果 ③実績・将来性 ④社会性・波及性
- 活動・教育 ①先駆性・独創性 ②連携・協働性 ③継続性 ④社会性・波及性

■ スケジュール





愛知環境賞 金賞

東邦ガス株式会社

都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた
国内初のe-メタン活用

連絡先

東邦ガス株式会社
https://www.tohogas.co.jp
愛知県名古屋市中区栄田町19番18号 052-872-9325

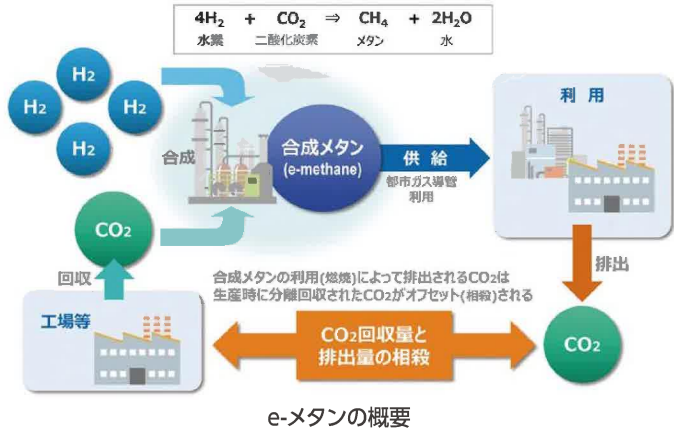


受賞のポイント

未利用エネルギーであるLNG冷熱発電由来の水素とバイオガス由来のCO₂を原料としたe-メタンを、全国で初めて都市ガスの原料として利用・供給したことは、2050年カーボンニュートラルの実現に大きく貢献するものと高く評価された。

概要

- ◆ガス・水素・電気等、複数の手段を組み合わせることでカーボンニュートラルの実現に挑戦中、都市ガスの脱炭素化手段の一つとして、e-メタンの導入を進めている。
 - ◆e-メタンはCO₂と水素を原料に製造された合成メタンであり、既存インフラを有効活用した、ガスの円滑なカーボンニュートラル化に貢献できる手段として期待されている。
 - ◆本取組では、下水污泥処理により発生するバイオ由来のCO₂とLNG冷熱発電*によるクリーンな電力由来の水素を原料とするe-メタンを、2024年3月から知多LNG共同基地で製造している。
 - ◆製造したe-メタンは、国内で初めて都市ガス原料として利用し、大口需要家に販売を行っている。
- *LNG冷熱発電…LNG(液化天然ガス)の持つ冷熱(未利用エネルギー)を活用したクリーンな発電方式



先駆性・独創性

- ◆バイオ由来のCO₂とLNG冷熱発電によるクリーンな電力由来の水素からe-メタンを製造。
- ◆e-メタンの製造をCO₂貯蔵量などを考慮して制御するとともに、24時間年中無休の運用・管理体制を確立することでe-メタンの安定供給を実現。
- ◆製造したe-メタンは、国内で初めて都市ガス原料として利用し、大口需要家に販売。



3つの国内初

e-メタンを都市ガス原料として利用

SHK制度

e-メタン × 排出係数 0

CO₂

基礎排出量ゼロ!!

SHK制度上*で、CO₂の基礎排出量をゼロと算出できるメニュー別排出係数の設定

設計 建設 運用

ガス事業法

ガス事業法に基づく設計・建設・運用(国内初は当社調べ)

*「温対法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表・制度」の略称

- ◆現在 : e-メタン製造能力5Nm³/h(10kg-CO₂/h)の削減効果。
- ◆2030年(目標) : 海外からの大規模調達も含めて、供給する都市ガスの1%以上のe-メタン等の導入。



愛知環境賞 銀賞

内浜化成株式会社

自動車外装樹脂部品の射出成形機金型内での新しい塗膜形成技術の開発

連絡先

内浜化成株式会社
https://www.kojima-tns.co.jp/uchihama/
愛知県豊田市四郷町宮下河原1番地 0565-45-8621



受賞のポイント

金型設備内で塗料を直接注入して、成形と塗装の一本化を実現したことは、自動車塗装工程における省エネルギー等の環境負荷低減に大きく貢献するものと高く評価された。

概要

- ◆自動車業界において部品の塗装工程は、温度や湿度の管理や塗料の乾燥など多くのエネルギーを必要とし、環境負荷の低減が求められている。
- ◆内浜化成株式会社は、「樹脂成形」と「塗装」を同じ工程内で行う型内塗装（インモールドコーティング）技術を開発した。
- ◆これにより、従来の噴霧塗装工程で必要であった塗装・乾燥が不要となり、工程の大幅な短縮とエネルギーの低減を実現した。
- ◆また、金型内に直接塗料を注入するため、溶剤希釈が不要となり、従来発生していたオーバーミストや塗料の液ダレ等の不具合ゼロを実現するとともに、鏡ガラスのような高い表面平滑性の外観を形成した。

自動車に採用された型内塗装外装部品



レクサスLM

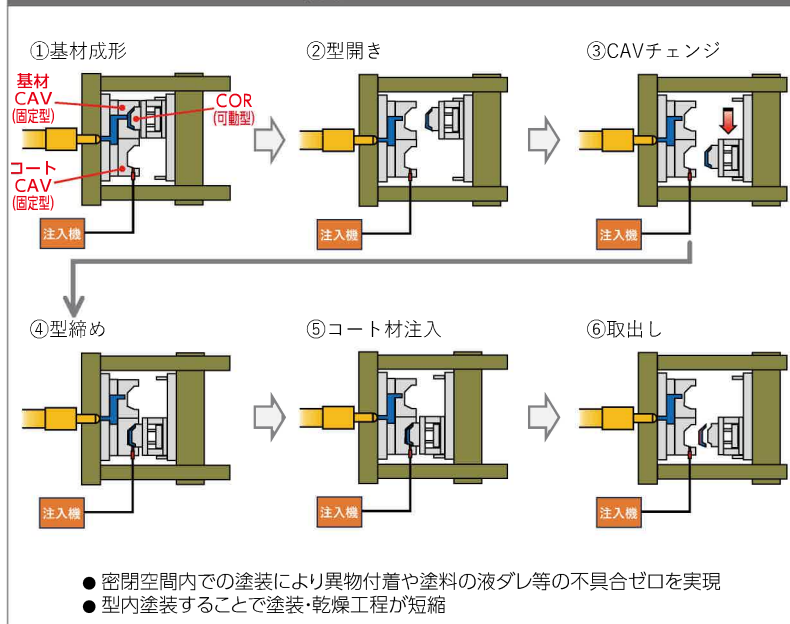


型内塗装技術を用いたピラー部品

先駆性・独創性

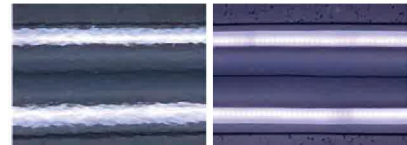
- ◆国内で初めて自動車向け熱可塑性樹脂外装部品の型内塗装の量産化を実現し、高品質な製品を提供している。

成形フロー ※イメージ (上面図)



外観・品質

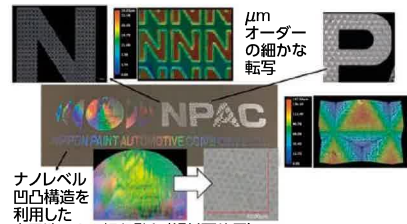
蛍光灯映りによる外観品質比較



従来の噴霧塗装表面 開発した型内塗装表面

- 金型内で塗膜形成を行うため、鏡ガラスのような表面形成(高い表面平滑性)を実現

デザイン金型による様々な意匠転写



- 今後、型内塗装の特徴を活かし、様々な模様、カラーリングなどのデザインが可能

環境負荷低減効果

- ◆CO₂排出量：塗装工程の短縮により約79.7%削減
- ◆環境負荷物質質量：塗着効率の向上と開発塗料により、VOC（揮発性有機化合物）を99%削減
- ◆廃棄物：オーバーミストによる塗装スラッジや排液洗浄後の廃シナーの排出を削減

工程短縮による環境負荷低減効果





愛知環境賞 銅賞

株式会社豊田自動織機
愛三工業株式会社
至学館大学
知多自然観察会

地域の川と生き物を対象として数値化によるPDCAを行い
楽しく学ぶ地域協働での河川活動とESD

連絡先

株式会社豊田自動織機
https://www.toyota-shokki.co.jp
愛知県大府市長草町山口9番地2 0562-48-9351(安全総務部環境グループ)



受賞のポイント

地域河川を対象として多様な主体が連携した生態系保全活動や、学校・病院等への水槽貸出活動を軸とした生き物と触れ合う取組は、地域住民の環境意識向上に大きく寄与するものと高く評価された。

概要

- ◆「大府市の文化と深く結びつく鞍流瀬川(くらながせがわ)周辺環境を整え、市民に親しまれる河川にする」ことを目標に、2016年より「環境保全活動」を実施している。
- ◆2020年からは、鞍流瀬川等の在来種を「生きた教材」として活用した「水槽貸出活動」を取り入れ、身近で子ども達が見たり、触ったりし、自然や生き物を大切にすることを育むESD活動を実施している。
- ◆PDCAサイクルの活用により、長期的な計画(Plan)のもと、定期的な実施(Do)し、数値化(Check)を行うとともに、様々な団体(専門家、行政等)の協力を得ながら2つの活動を継続的に実施している(Action)。

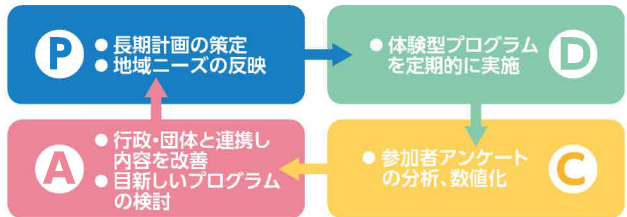
先駆性・独創性

- ◆長期的な計画のもと毎年ゴミの量、外来植物駆除量、環境学習を通じた人材育成数等を数値化しながら活動の改善を図っている。
- ◆「水槽貸出活動」では、子ども達に体験して欲しいことを活動に取り入れ、効果を検証し体験型プログラムを充実させながら、川への関心を高め、「川の環境保全活動」に繋げている。

鞍流瀬川の環境活動体制



PDCAサイクルによる継続的な活動



楽しみながら環境保全について学ぶ体験型プログラム

見る	聞く	触れる	知る
 生き物を観察する小学生 鞍流瀬川等の在来種の生き物を水槽に入れ、地域の小学校や保育園、大学、病院等に貸出	 ミニ観察会 知多自然観察会と至学館大学により、生き物の特徴、オス・メスの違い等を面白く、わかりやすく説明する観察会	 お魚タッチ 知多自然観察会による触り方指導のもと、至学館大学の学生が見守るお魚タッチ(河川自然遊びの疑似体験)	 お便りのやりとり 子ども達の質問に至学館大学の学生が返信 お魚カルタ (株)豊田自動織機を中心に自作のカルタを用いた学習

鞍流瀬川の環境活動

 環境学習会 鞍流瀬川に生息する生き物の大切さを学ぶ体験学習会を実施	 清掃活動 地域協働での鞍流瀬川清掃活動を実施	 オオキンケイギク駆除活動 鞍流瀬川の周辺に生息する特定外来生物「オオキンケイギク」の駆除活動を実施
---	--------------------------------------	---

啓発効果

- ◆ゴミの収集量約1,000kg、オオキンケイギク駆除量160kg、環境人材の育成81名を実施
- ◆子ども達の生き物や自然への意識調査の結果、関心度が向上しており、着実に環境意識の醸成に寄与



愛知環境賞 中日 新聞社賞

ABK♡朝美活

楽しさで加速する行動変容
～ごみ拾いは地球を救う～

連絡先

ABK♡朝美活
https://abk.anjocity.net
愛知県安城市篠目町童子99 080-3650-6021



受賞のポイント

プロギングや仮装など、ユニークな取組や地域イベントとの連携により、「楽しいから続けられる」清掃活動を普及展開していることは、地域住民の環境意識の向上に大きく貢献するものと高く評価された。

概要

- ◆ABK♡朝美活(エイビーケーあさびかつ)は、安城市を拠点に2011年に発足し、「ごみ拾いは地球を救う」を合言葉として、街の美化と環境意識の向上を進める団体である。
- ◆走りながらのごみ拾い(プロギング)や仮装等、様々な工夫で参加者の輪を広げ、当初5人から始まった活動は、通算150回以上、参加者延べ6,000人の実績を重ねている。
- ◆誰でも継続して参加できる活動体制を整え、現在では、地域別、時間帯別の派生グループも生まれている。
- ◆また、美しいまちづくりを目指すために、安城市の2015年施行「さわやかマナーまちづくり条例」の検討段階から関わり、市民への啓発活動を続けている。

先駆性・独創性

- ◆様々な工夫で清掃を“義務”から“楽しい参加体験”へ転換



発想の転換

義務から「楽しいから続く」へ

- 踊り・走りながらのごみ拾いや仮装などの楽しさを加える仕組みにより、参加者がまた来たいと思える行動変容を効果的に促進



プロギングイベントの様子



コスプレイベントの様子

集合ルールの工夫

時間・場所・地域性を結びつけ習慣化

- 毎月第1火曜日 午前6:45から7:30まで
- 毎月19日 午後1:19から「いちじく大作戦」
*安城市特産「いちじく」にちなんだ語呂合わせ
- 集合場所：JR三河安城駅周辺
- ピンクの帽子・ベストで見つけやすいコスチューム
- 集合時に安全・分別・まちづくり条例を共有



ピンクのコスチュームによるごみ拾い

成果の見える化

成果発信による地域への啓発

- 終了後の振り返りによる成果共有
- ごみ重量とたばこの吸い殻の記録と公開



拾い集めたごみ



ポイ捨ての可視化「たばこグラフアート」

地域連携

共通の進め方による広がり

- 無理なく参加できる仕組み(集合→学び→振り返り→発信)による広がり
と担い手の育成
- 地域企業や行政の協賛・提供による道具の貸出
- 周辺地域への波及や他の団体・教育機関との連携



碧南市との共同ごみ拾い



安城七夕まつりで結成した「歩くゴミ箱隊」

啓発効果

- ◆参加者の環境意識やマナーの向上と世代を超えた地域交流の場としての役割を担い、ABK♡朝美活が母体となったグループの派生や近隣市との共同開催等の活動が広がっている。
- ◆現場での学びの共有、ごみの重量やたばこの本数の公開などを通じて、市民の行動変容を継続的に促している。



愛知環境賞 名古屋市長賞

御幸毛織株式会社

高品質と環境配慮を両立した
日本唯一の一貫生産モデルの構築

連絡先

御幸毛織株式会社
https://www.miyukikeori.co.jp/
愛知県名古屋市西区市場木町390 番地 ミユキビル 052-509-1600



受賞のポイント

繊維製品の製造における原料調達から製品化まで、サプライチェーン全体を通じた各種取組により、環境配慮型のウール生地生産モデルを確立したことは、持続可能な社会の形成に大きく貢献するものと高く評価された。

概要

- ◆繊維産業は、原材料の調達から製造、廃棄に至るまで、地球環境に大きな影響を及ぼす産業の一つであり、高品質と環境配慮を両立した製造モデルの構築が課題となっている。
- ◆御幸毛織株式会社は、日本で唯一、ウール原料調達から縫製までの一貫生産体制を持っており、自然環境に配慮した牧場との連携による持続可能な原料調達や非金属含有染料の採用など環境配慮型の製造システムを完成させた。
- ◆さらに、「ウールの畑プロジェクト」や「HAGIREプロジェクト」を通じて、廃棄物の再資源化と地域共生社会を推進している。



先駆性・独創性

- ◆当社での一貫生産体制の強みは「全体最適」にある。原料調達から製品化まで全工程を自社で管理・最適化することで、高品質と環境配慮を両立した持続可能なウール生地生産モデルを構築している。



高品質と環境配慮を両立した日本唯一の一貫生産モデルの構築



環境負荷低減効果

- ◆環境配慮型素材系「Manerd(マナード)」により、洗濯時のマイクロプラスチックの流出を1/5以下に抑制
- ◆サーキュラー染色機の導入により、エネルギー使用量56%、水の使用量63%削減
- ◆廃ウールを肥料として活用したことで、従来使用していた窒素肥料を15%削減



愛知環境賞 優秀賞

アイシン高丘株式会社

世界初、廃棄ヤシ殻を原料とするコークスを用いたCO₂削減事業によるカーボンニュートラルへの貢献

連絡先

アイシン高丘株式会社
https://www.at-takaoka.co.jp/
愛知県豊田市高丘新町天王1番地 0565-54-1335

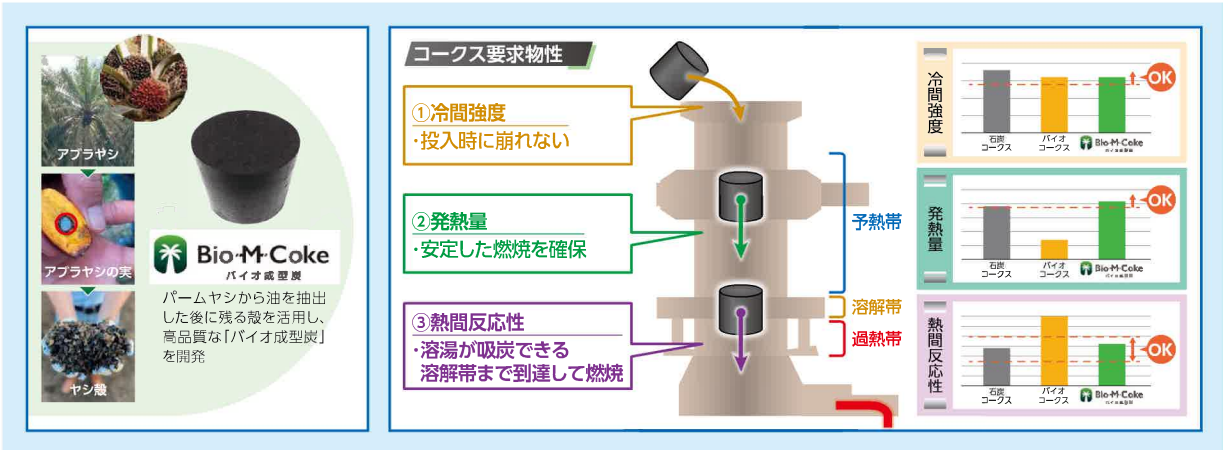


受賞のポイント

石炭コークスの代替としてキュボラ（溶解炉）に活用できるバイオ成型炭を開発したことは、鑄造業界のカーボンニュートラルに大きく貢献するものと評価された。

概要

- ◆鑄造業では鉄の溶解エネルギー由来のCO₂発生が大半を占め、その排出削減が大きな課題となっている。
- ◆自動車鑄造部品のリーディングカンパニーであるアイシン高丘では、キュボラ（円筒形の縦型溶解炉）溶解においてCO₂削減に寄与するバイオ由来（廃棄ヤシ殻）の鑄物用コークス「Bio-M-Coke®」を開発した。
- ◆開発においては、炭化・粉碎・混合・成型・乾留の各工程で独自技術を導入することで、石炭コークスと同等レベルの品質（冷間強度、発熱量、熱間反応性）を実現し、石炭コークスから100%代替可能なバイオマス燃料として、鑄造業界及び他業界への展開を進めている。



愛知環境賞 優秀賞

株式会社アオキスーパー / 株式会社ミライデザインGX

資源循環・経済性・地域貢献を実現する持続可能な食品ロス削減の取組アオキスーパーモデル「ハピタバ」

連絡先

株式会社アオキスーパー
https://aokisuper.co.jp/
愛知県名古屋市中村区鳥居西通一丁目1番地
052-414-3600



株式会社ミライデザインGX
https://good-mirai-project.jp/
東京都千代田区神田松永町104 TSKビル3F
03-3253-6638



受賞のポイント

期限切れに近い商品の購買行動を促す仕組みを、値引きだけに頼らないインセンティブにより構築したことは、持続可能な社会の形成に大きく貢献するものと高く評価された。

概要

- ◆食品小売業では、食品ロスの発生量削減は大きな課題である。その主な対策として、消費期限・賞味期限が迫った商品の値引きを行っているが、その効果は十分ではなく、店舗経営の圧迫につながることもある。
- ◆商品のでまどりを推進している株式会社アオキスーパーは、購入者の行動変容を促すサービス「ハピタバ」を提供する株式会社ミライデザインGXと協業することで、購入者が楽しみながら食品ロス削減に貢献できる仕組みを構築した。
- ◆これにより、食品ロス削減に加えて、値引き損益などの課題に対応し、経営改善を図るとともに、廃棄削減で得た利益は、環境教育事業等に活用することで、地域に還元している。





愛知環境賞 優秀賞

株式会社グランツ

再生困難な熱硬化性樹脂及び熱可塑性低硬度エラストマーの
独自技術によるマテリアルリサイクル

連絡先

株式会社グランツ
https://www.gurantsu.co.jp
愛知県稲沢市石橋2-162 0587-21-7368



受賞のポイント

再資源化が困難とされていた樹脂に新たな価値を見出し、研磨材や自動車部品原料として製品化を実現したことは、サーキュラーエコノミーの推進に大きく貢献するものと高く評価された。

概要

- ◆株式会社グランツは、1986年の創業当初よりプラスチック再生加工に携わり、多様な材料の多彩な加工技術による再資源化を行っている。
- ◆これまで再生利用が困難とされていた熱硬化性樹脂は、独自の粉砕・分級技術により、学校・病院等で廃棄される食器や成形メーカーで排出される不良品をタイヤメーカーの金型洗浄材として製品化した。
- ◆また、表面が軟らかく(ショアA硬度:70度未満)、加工が困難な熱可塑性低硬度エラストマーは、独自の粉砕・コンパウンド技術により、自動車部品メーカーからの端材を再生原料として製品化した。

〈微粉砕〉



スーパーロータリーカッター

- 常温で樹脂の機械粉砕が可能
- 熱可塑性エラストマーやポリウレタン樹脂などの軟らかい素材も機械粉砕が可能

〈分級加工〉



振動ふるい機

- 粒子の大きさを揃えることにより性能、品質及び付加価値を向上

〈微粉砕〉

研磨材「サンブラスト」

SUN BLAST 熱硬化性樹脂の再資源化

- 学校・病院等の廃食器やメーカーの不良品を回収
- 独自の粉砕・分級技術でタイヤメーカーの金型洗浄材として製品化

〈材料物性に応じた独自の速度、圧力、温度等により加工〉



樹脂コンパウンド加工

エラストマー原材料



熱可塑性低硬度エラストマーの再生利用

- 自動車部品メーカーから端材引き取り
- 独自の粉砕・コンパウンド技術により、再生原料として製品化

ショアA硬度：30度の着色加工



愛知環境賞 優秀賞

CKD株式会社

世界初! 医薬品包装PTPシート「ClearE-Sheet®」の
生産技術によるプラスチック含有廃棄物の大幅削減

連絡先

CKD株式会社
https://www.ckd.co.jp
愛知県小牧市応時二丁目250番地 0568-74-1316(自動機械事業本部営業統括部)




受賞のポイント

廃棄物排出量を大幅に削減する医薬品包装技術を開発したことは、循環型社会の形成に大きく貢献するものと高く評価された。

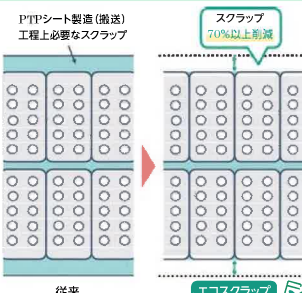
概要

- ◆錠剤やカプセルなどの医薬品を包むPTPシートの製造工程において、国内で年間1,300t以上のプラスチックを含む包装廃材(スクラップ)が発生しており、重要な課題となっている。
- ◆CKD株式会社は、プラスチック使用量を削減し、シートの品質を保持する「エコスクラップ®技術」を開発し、プラスチック使用量7%以上の削減とともに、製造時のスクラップ排出量70%以上の削減も実現した。
- ◆エコスクラップ®技術により製造した「ClearE-Sheet®(クリア・イー・シート)」は、シート端面の一部が透明(Clear)であり、従来のPTPシートと比べると、環境対応製品であることが視覚的に認識できるデザインとなっている。



ClearE-Sheet

エコスクラップ®技術概要



PTPシート製造(搬送)工程上必要なスクラップ

スクラップ 70%以上削減

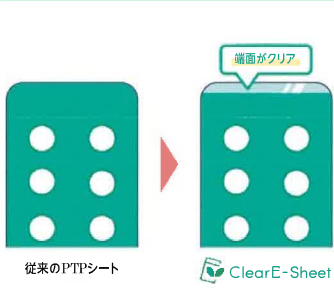
従来

エコスクラップ

- 独自のシート搬送技術とスクラップ回収技術により、両端のスクラップが不要となる。

プラスチック使用量 : 7%以上削減
製造時のスクラップ排出量 : 70%以上削減

従来PTPシートとClearE-Sheet®



従来PTPシート

ClearE-Sheet

端面がクリア

- シート端面に蓋フィルムが残らず一部が透明(Clear)であり、環境対応製品であることを視覚的に認識できるデザイン



愛知環境賞 優秀賞

Terminal

無理なく安心して継続的にペットフードロス削減と動物愛護に貢献する動物版フードバンクエコシステムの構築

連絡先

Terminal
<https://animal-foodbank.org/>
愛知県豊田市小坂本町1丁目5番地7 勝田ビル102 0565-31-8618

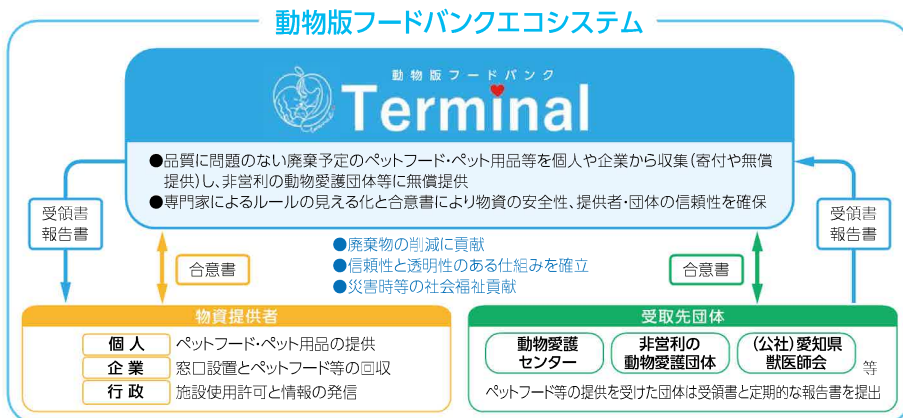


受賞のポイント

信頼性と透明性を担保したルール整備等により、低リスク・低コストの動物版フードバンクエコシステムを構築したことは、廃棄物削減による循環型社会の形成に大きく貢献するものと高く評価された。

概要

- ◆ペットフードは、年間6,000t以上が未使用のまま廃棄されている一方、物価高騰等により厳しい運営を強いられている動物愛護団体等が増えている。
- ◆Terminalは、企業や行政の窓口の活用や、動物版フードドライブの実施により、低コスト、低負担での未使用ペットフードの収集を実現し、動物愛護団体へ無償で提供している。
- ◆物資提供者及び受取先団体それぞれに対して、獣医師や弁護士などの専門家によって信頼性と透明性を確保した合意書を締結するなど、安心・安全なペットフード等の収集・提供スキームを構築した。
- ◆また、動物救護活動にあたる愛知県獣医師会と合意書を締結し、災害時の被災動物へのペットフード等の無償提供を実施することとしている。



活動の様子



災害時の救護活動に当たる獣医師会と物資支援の合意書に調印



愛知環境賞 優秀賞

株式会社鶴弥 / 創嘉瓦工業株式会社

アップサイクル型粘土瓦「スマート 純いぶし」の製造によるロス率の削減

連絡先

株式会社鶴弥
<https://www.try110.com/>
愛知県半田市市の崎町2番地12
0569-29-7311



創嘉瓦工業株式会社
<https://www.souka.co.jp/>
愛知県高浜市豊田町一丁目5番地5
0566-52-2216



受賞のポイント

釉薬瓦の焼成窯昇温時に発生するロス品を、同業他社との連携により、いぶし瓦の原料にアップサイクルしたことは、サーキュラーエコノミーの推進に大きく貢献するものと高く評価された。

概要

- ◆「釉薬瓦」の生産を行う株式会社鶴弥は、メンテナンスなどで停止した焼成窯を再稼働する際、必要な焼成温度(最高1,130℃)に達するまでに投入するテスト品を粉砕し再資源として活用していたが、更なる有効活用が課題になっていた。
- ◆そこで、「いぶし瓦」の製造メーカーである創嘉瓦工業株式会社と連携し、テスト品を再度燻化焼成して、通常のいぶし瓦と同等の品質(耐久性や断熱性など)の製品を開発した。
- ◆テスト品がいぶし瓦として高付加価値な製品に生まれ変わることで、テスト品廃棄量の約25%削減を実現した。

焼成(昇温工程)



- (株)鶴弥では、焼成窯を再稼働する際、テスト品を焼成
- 従来、製品ロスとして扱っていたテスト品を再資源として回収

燻化工程



- 創嘉瓦工業(株)は、(株)鶴弥から回収したテスト品を専用カプセル内で燻化
- テスト品は、表面に炭素膜を形成し、純いぶし特有の風合いと耐久性を持ついぶし瓦へとアップサイクル

製品化



アップサイクル型粘土瓦
スーパーライ110
「スマート 純いぶし」

廃棄量(年間)
約25%削減





愛知環境賞 優秀賞

株式会社豊竹

竹を厄介者から貴重な資源に
～竹林所有者・伐採事業者・社会問題解決が全て満足する日本初の事業モデル～

連絡先

株式会社豊竹
愛知県豊田市浄水町伊保原155番地
070-8321-3538

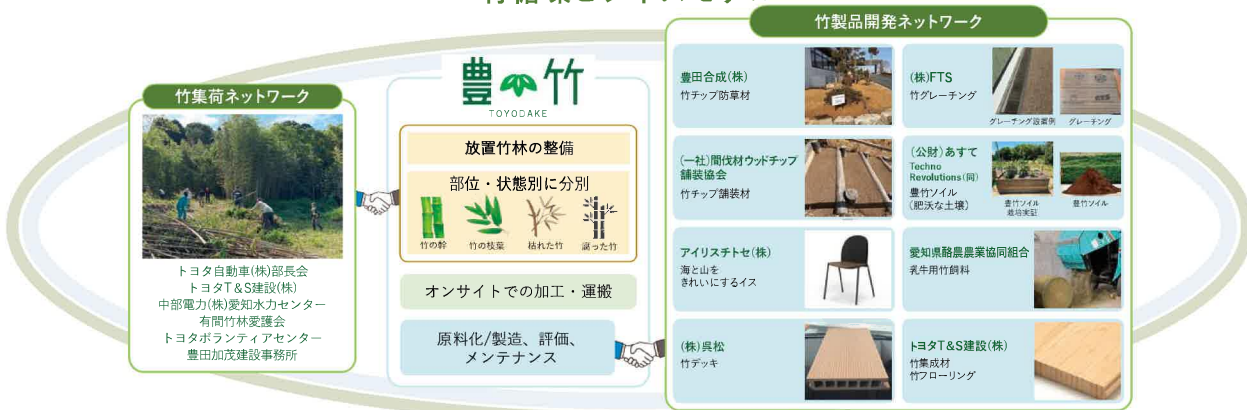
受賞のポイント

自社で構築した産官学のネットワークを活用し、廃棄または放置されてきた竹を多種多様な商品の原料として高付加価値化したことは、サーキュラーエコノミーの推進に大きく貢献するものと高く評価された。

概要

- ◆竹は、成長速度が速いことや処分費等のコストが掛かることから整備が難しく、放置竹林が全国各地で問題になっている。
- ◆株式会社豊竹は、産官学からなる集荷ネットワークを構築し安定的な竹の集荷量を確保するとともに、オンサイトで部位や状態別に分別、破砕加工することで、効率的な運搬を可能にした。
- ◆集荷した竹の部位の特性を活かした原料化と、様々な事業者との製品開発ネットワークの連携により、防草材や舗装材、家具といった様々な竹製品の開発に成功し、竹循環ビジネスモデルを構築した。

竹循環ビジネスモデル



愛知環境賞 優秀賞

プロジェクトsky

私たちの未来のために
楽しみながら環境意識を地域に広める活動

連絡先

(HP) <https://projectsky125.wixsite.com/my-site>
(Instagram) <https://www.instagram.com/project.sky1220>



受賞のポイント

中高生が主体となり、行政や企業、地域の団体のサポートを募りながら楽しさを感じられる清掃活動を展開していることは、地域の環境意識の向上に大きく貢献するものと高く評価された。

概要

- ◆プロジェクトskyは、2022年に環境問題への関心を広めるため大府市の中学生が自主的に立ち上げ、地域の人々の協力を得ながら、「楽しさ」を追求する独自の運営スタイルにより継続的に活動を行っている。
- ◆SNSでの情報発信や、地域住民や団体・行政・企業に対し自ら直接訪問し、活動内容を伝えることで支援を募り、活躍の場を広げてきた。現在は、メディアでも取り上げられることが増え、支援の輪は広がっている。
- ◆毎月開催のゴミ拾いイベント「day0(デイゼロ)」に加え、地域の規格外野菜を利用した「エコクッキング」や、SDGsの達成にセミナーや体験を通して取り組む「開け!SDGsのとびら!!」といったイベントを主催・運営するなど、地域に広がる環境活動を展開している。

中高生が主体となり環境意識を地域に広める活動





愛知環境賞 優秀賞

株式会社毎日商会

日本初の多量×高精度を実現する
エネルギー自立型混合廃棄物選別システム

連絡先

株式会社毎日商会
http://www.mainichi-shoukai.com
愛知県岡崎市八帖南町字琉球島6番地5 0564-73-2211



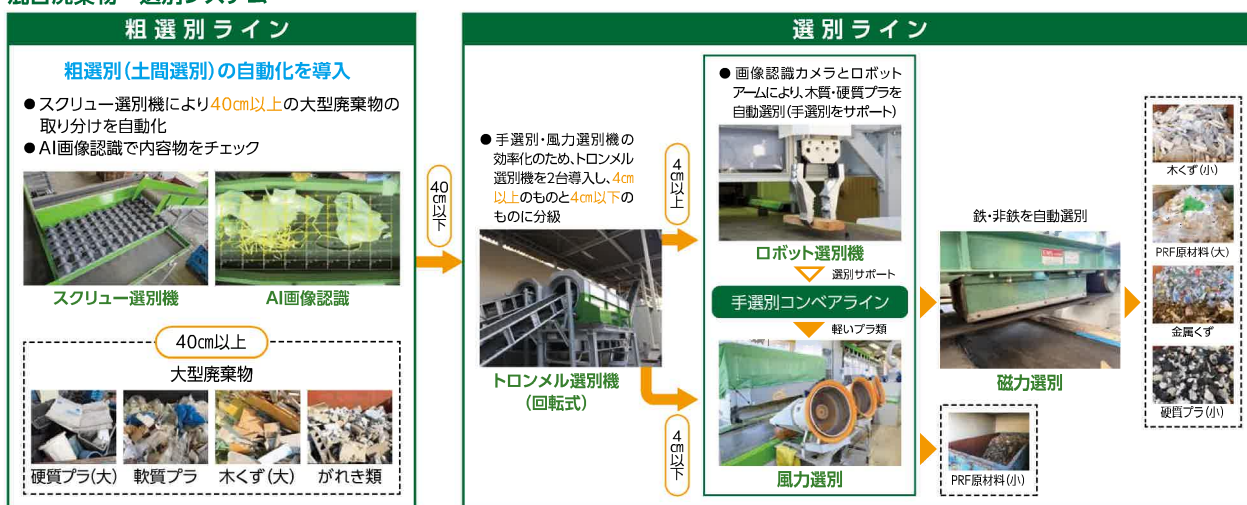
受賞のポイント

機械メーカーと共同開発した独自設備の導入により、安全で高精度な選別を実現するとともに、太陽光発電により事業に必要な電力を賄う仕組みを構築したことは、循環型社会の形成に大きく貢献するものと高く評価された。

概要

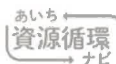
- ◆ 廃棄物の焼却や最終処分の量を削減するうえで、混合廃棄物（廃プラスチックや木くずなどが混ざった廃棄物）の選別処理によるリサイクル率の向上が求められている。
- ◆ 株式会社毎日商会では、選別処理の初期工程において、粗選別（土間選別）の自動化を導入するなど技術改良を重ね、粗選別から最終選別まで一体化した選別ラインを完成させた。また、AI画像認識を搭載したロボットで選別するなどして、リサイクル率を向上させた。
- ◆ これにより、処理能力を従来比240%、リサイクル率を95%以上に改善するとともに、選別ラインの稼働エネルギー全てを自社発電で賄うなどCO₂排出量も削減している。

混合廃棄物 選別システム



あいち資源循環ナビのご紹介

愛知県Webサイト「あいち資源循環ナビ」において、愛知環境賞をはじめ「あいち資源循環推進センター」が行う各種事業のほか、サーキュラーエコノミー・3R、SDGs、循環ビジネスに関する最新情報やESG投資を呼び込む事業情報を積極的に発信しております。是非御活用ください。



循環ビジネス創出支援サイト

<https://aichi-shigen-junkan.jp/>



サーキュラーエコノミー

循環ビジネス支援

愛知環境賞

循環資源事業者マッチングシステム

資源循環学習

あいち資源循環ナビは、愛知県環境局による「資源循環」に関する情報発信、交流を目的としたウェブサイトです。

AICHI Environmental Award

愛知県環境局資源循環推進課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
(TEL)052-954-6233 (FAX)052-953-7776

「愛知環境賞」の詳細についてはWebサイトをご覧ください。
<https://aichi-shigen-junkan.jp/kankyoushou/>

愛知環境賞

検索

